令和元年９月１日発行

かみすながわ

議会だより

令和元年　第2回定例会

第９号

発　行　上砂川町議会　　編　集　　議会活性化特別委員会
上砂川町議会事務局　電話　０１２５－６２－２８８０

炭鉱館横で地域おこし協力隊が整備しているブルーベリーのようす

掲　載　内　容

＊主な議会政務報告について　2P
＊一般質問と答弁内容（要旨）について　3P
＊提案された意見書について　6P
＊各種研修会について　6P
＊町内事業への参加について　8P

主な議会政務報告について

月　日	会　議　行　事　名	場　所	出席者
6・ 5	議会運営委員会	議事堂	議長・全委員
7	第４９回上砂川中学校体育祭	上砂川中学校	議長
11	北海道町村議会議長会第７０回定期総会	札幌市	議長
12～14	第２回上砂川町議会定例会	議事堂	議長他６名
12	議会運営委員会	役場	全委員・議長
13	行政常任委員会	役場	委員６名
16	令和元年上砂川消防演習	上砂川支署	議長他５名
	鵜神社祭典	鵜神社	副議長･吉川議員
18	上砂川町社会福祉協議会懇親会	町民センター	議長
23	第６５回北海道消防協会空知地方支部 中空知分会連合消防演習並びに懇談会	奈井江町	議長
25	北海道町村議会議長会議員研修会	札幌市	議長他６名
28	戦没者追悼式	町民センター	議長他３名
7・ 3	空知町村議会議長会令和元年第３回役員会	上砂川岳温泉	議長
5	各町自治会交流会	町民センター	議長
7	滝川駐屯地創立６４周年 第１０即応機動連隊創隊記念行事	滝川市	議長
8	中空知ふるさと市町村圏議員研修会	滝川市	議長他６名
12	空知町村議会議長会議員研修会	奈井江町	議長他６名
19	夏の交通安全運動	町内	議長
23	社協・日赤「たすけあいビールパーティー」	町民センター	議長他
26	中空知町議会議員親睦交流会	町内	議長他６名
29	行政常任委員会所管事務調査	町内	委員６名・議長
8・ 2	福井市鵜地区小学生交流事業 ウェルカムパーティー	上砂川岳温泉	議長
5～7	中央要望実行運動	東京都	議長
6	「核兵器の廃絶と世界恒久の平和を願う」 上砂川町の集い	町内	副議長他３名
	令和元年度１市３町 「交通事故セーフティ運動」総決起大会	浦臼町	副議長
7	無縁物故者供養式	無縁の塔	副議長
	炭鉱殉職者慰霊追悼式	慰霊の碑	副議長
13	上砂川商工会議所 「第１８回仮装盆踊り・花火大会」	町内	議長他
23	空知中部広域連合議会第２回定例会	奈井江町	議長・伊藤議員
	空知中部広域連合議会懇親会	雨竜町	議長
29	上砂川神社例大祭	上砂川神社	議長
30	三師会親睦交流会	上砂川岳温泉	議長

一般質問
（質問者順）

議席番号８番
高橋　成和 議員

質問要旨
かみすながわ炭鉱館の今後の活用について

平成5年の建設以降25年経過しており、施設の展示物については、町民からの協力により収集保存されていて増えてきてはおりますが、施設が休止されている期間もありましたので手を加えられていない状況かと思います。

閉山後、町内においては古い歴史のある建造物が取り壊され新しい公共施設が建設され様々な出来事があると思いますし、これまで町内に進出し躍進している企業もあることから25年の歴史の記録を振り返れるよう現状のスペースのなかで収蔵資料の積極的な活用をはかることでリニューアルできないかと感じています。

本年度は開基120周年、開町70周年という記念すべき年であり現在も記念誌作成に向けて準備作業が進められている状況ですが、開拓につきましては母村である福井市鶉地区との交流が小中学校において活発になっていますことから、教育や生涯学習の気運を高めることを目的に開拓記録の資料の展示や母村である福井にかかわる展示について、これまで以上に充実させることができないかと感じております。

町民や町内の出身者がこれからも上砂川に住んでいたことに誇りをもてるよう、開拓の歴史を後世にしっかりと伝えられる施設にしていくことが今後望ましいかと思いますが町としてかみすながわ炭鉱館のあり方と今後の活用方針について伺います。

答弁要旨

炭鉱館につきましては、炭鉱の歴史を後世に継承するため平成5年に開館し、平成17年に休館といたしましたが、平成25年度に町民ボランティアが主体となり開館、また、平成27年度からは町において、5月から10月までの土曜日と日曜日、お盆期間を開館しております。

炭鉱館の展示物につきましては、石炭を採炭するための機械や水力採炭機、道具等の展示、さらに炭鉱住宅の生活文化の様子などを窺う事ができるもののほか、年表や炭鉱の隆盛期の写真、石炭を使った絵画、また、町民より寄贈された資料等について展示しているところであります。

建設以降25年経過し、その間の歴史が振り返ることの出来るような資料の活用や開基120年、開町70年という記念すべき年であることから、母村である福井市鶉地区や開拓記録の資料など展示できないかとのことですが、前段申し上げたとおり炭鉱館は、炭鉱の歴史を後世に伝えるための施設でありますので、新たな資料に入れ替えたりすることも難しいと考えますので、既存の展示物や資料を良い状態でしっかりと保存しながら、町民より炭鉱に関係する資料の提供があれば展示スペースを考慮し、引き続き展示を行ってまいります。

質問要旨
町内で開催される同窓会への支援について

人口減少などにより近年、Uターンや地域経済の活性化、ふるさと会への加入を目的に同窓会の開催に対して少額ではありますが補助金を交付するという自治体が地方で増えてきており、近隣におきましては秩父別町や増毛町が取組んでいます。自治体においてもふるさとに愛着を持ってもらうための画期的な取り組みと思いますので、同窓会の補助制度の取り組みについて本町としての考えをお伺いします。

町内の同窓会の現状ですが、パンケの湯を利用しての開催については同窓会の団体利用者数も少しずつ増えてきているそうで、平成29年度においては8件133名であり平成30年度においては13件223名まで利用者数があるそうで、少しずつですが同窓会の利用は伸びているように感じております。

現在、町では同窓会の団体対象者にふるさと納税のPRや観光パンフレットを配布されているとのことですが、同窓会の補助金交付とはいかなくても上砂川町内に在住し、小中学校等を卒業された方などをターゲットに、町の特産品や記念品をプレゼントするとか、あるいは短い時間でもよいのでバス等で説明員をつけて、町内の施設を探索していただき、お土産の購入だけではなく実際に将来帰省していただけるきっかけづくりになるような取り組みができないかと思うのですが、町としての考えをお聞かせ願います。

答弁要旨

ふるさと納税のPRや地域経済の活性化、ふるさと回帰のきっかけづくり等を目的に同窓会の開催に対し補助金を交付する自治体があり、議員ご指摘のとおり秩父別町と増毛町で補助金が交付されており、秩父別町では10名以上の参加で町内の飲食店を利用した場合、参加者

1名に対し1，000円が補助されており、増毛町では15名以上の参加で町内で開催されるものに対し、30名以上参加で5万円、30名に満たない場合は3万円の商品券を交付しております。

パンケの湯においては、小中学校、高校の同窓会や町内企業のOB会などの利用が近年少しずつではありますが増えてきており、現在は観光パンフやふるさと納税のチラシの配布、また、希望があれば温泉バスによる町内を案内もすでに行っております。

同窓会開催に対する補助金の交付や町特産品、記念品のプレゼントやバス等での説明員をつけての町内施設の見学等の取組みにつきましては、先行自治体の効果検証を参考に検討したいと考えますが、当面パンケの湯において同窓会プランを設定するなど、将来帰省するきっかけとなる取組みについての検討を行います。

議席番号1番
小澤　一文 議員

質問要旨

単身者向け住宅の拡充について

本町では、誘致企業などで働く多くの従業員の皆さんが、町外から通勤している現状があります。その多くは20代前半の若い青年の皆さんです。そして、彼らが生活の基盤を町外に置いている理由の一つに、本町には単身者向け住宅が決定的に少ないことが挙げられます。長い期間、既存の単身者向け住宅に空きが出ないことや民間の賃貸住宅の不足が大きく影響し、彼らの移住・定住の促進に繋がらない状況が続いてきたのではないでしょうか。移住・定住策の促進に関連して2点お伺いします。

一　本町における単身者向け住宅の拡充と若者の移住・定住の現状についての見解をお伺いします。

二　移住・定住対策の空き家バンク・空き地バンクについてですが、ホームページでの掲載物件数は多くはありませんが、特に空き家バンクでは高い割合で成約を頂いているようです。そこで、成約によって発生した人の変動状況並びに今後の取り組みについてお尋ねします。

答弁要旨

町内の単身者向け住宅の状況でありますが、中央に3棟24戸、朝駒に2棟16戸、本町に1棟8戸の合計6棟48戸となっております。

家賃につきましては、中央は2万6千円の家賃を平成22年4月から1万6千円に引き下げ、朝駒は平成24年4月から、本町は平成28年4月から2万8千円の家賃を1万8千円に引き下げております。

民間賃貸住宅につきましては、建設費補助制度を創設し、平成30年3月に中央地区と鵜本町地区に2棟16戸の単身者向け住宅が建設されました。家賃は、補助制度の活用により、中央は、月額4万3千円、鵜本町は、月額3万8千円と、大幅な低家賃化を図ることができ、更には、民間賃貸住宅家賃助成制度も創設し、月額5千円を5年を限度に助成しております。民間賃貸住宅の入居にあたっては、町内の誘致企業に入居依頼やチラシを配布するなど入居促進を図り、希望者は少なかったものの6名の方が町外から入居しております。

質問の一点目についてですが、単身者住宅につきましては、5月末現在で町で管理する単身者住宅で5戸、民間賃貸住宅で1戸が空戸となっており、現在の入居希望若しくは問い合わせの状況を鑑みると、必ずしも不足しているとの状況にはありませんが、引き続き世帯向け住宅も含め就業者奨励金等制度のPRや、空き家の情報発信に努め、ニーズに即した住宅制度を進めてまいります。

質問の二点目についてでありますが、空き家バンク登録については、ホームページのほか、固定資産税の納付書発送時にチラシを同封し、空き家・空き地バンクへの登録を促すPRをおこない、これまでに空き家で13件、空き地で9件の登録があり、その内空き家9件、空き地4件の約半数が売買成約されており、町外居住者の空き家購入は2件で4名の移住定住に繋がっており、一定の成果があったと考えており、引き続き空き家・空き地バンクの登録制度の推進に努めます。

質問要旨

町道の舗装整備について

今般、町道に経年劣化による路面のひび割れや凹凸をよく見受けます。この路面のひび割れに沿ってアスファルトが盛り上がり、排水溝のグレーチングの収まりが悪かったり、ひび割れが段差となり、歩行者、特に高齢者が歩行中につまずいたり、自転車のハ

ンドルが取られ、転倒し重大な事故に繋がることが予想されます。

本町の道路維持及び舗装補修工事には、今年度は、当初予算で500万円が計上されていますが、十分とは言えない予算の中で大変にご苦労されておられると思います。このような状況の中、中・長期的に計画を立て、維持・整備をされていると考えますが、クラックが目立つ、状態の悪い道路については、安心・安全のために、優先して早めの対応で整備の徹底をすべきではないでしょうか。

また、今年度の事業計画では、町道北線道路改良舗装工事が計画されておりますが、今後の町道の舗装整備についての方針をお伺いします。

答弁要旨

現在の町道は、議員ご指摘のとおり経年劣化による路面ひび割れや凹凸がある道路が多くあることから道路ストック管理規定を定め、平成27年度に6・2キロメートルの舗装路面調査を実施し、12・35キロメートルの舗装補修が必要となる結果となったところであります。

舗装補修にあたっては、クラック補修材を使用して補修する予防保全は舗装の延命や経費節減につながるものと考えられますが、ひび割れや凹凸の主な要因は、積雪寒冷による凍上等により道路の土台である路盤が不良となり、路盤改良舗装工事を優先していかなければならない状況であります。また、当初予算の道路維持及び舗装補修工事の500万円は、雪解け後のポットホールなどの舗装補修や側溝・縁石の補修費用と道路の小破修繕を実施しているとこで、舗装整備については、別途予算計上をして実施しているところであります。

中・長期的な整備計画は、舗装路面調査を基に計画を立てており、優先度が一番高い鵜北線から整備を計画し、交付金による整備を検討しましたが、全国的に要望が多いことから本来交付される額の3割から5割程度しか見込めず、整備基準も交通量に見合わない厚さが求められメートル当たりの単価が高くなり、整備の進捗率に影響するものと判断したところです。そのため、鵜北線については単独費による工事とし、上水道工事と併せて実施することにより後年度の凹凸防止を視野に、平成30年度より舗装整備を進めているところであります。

今後についても整備計画を基に道路改良舗装工事が主となりますが、緊急度、優先度を考慮しつつ、上水道工事と同時整備や切削オーバーレイといわれる全面舗装を含め、道路利用者の安全・安心の確保に努めた道路整備を進めてまいります。

議席番号2番
越前　等 議員

質問要旨

幼児児童の安全、交通安全について

6月6日に札幌市中央区での母親と彼氏により2歳の女幼児衰弱死、全身にあざがあり虐待事件で取り調べ中であります。滋賀県大津市で散歩中の保育園児が亡くなる交通事故、神奈川県川崎市の児童を含む19人が殺傷した通り魔事件などがあり児童の安全対策をこれまで以上に対策を強化していただきたいと思います。

町、教育委員会、学校、保護者などの登下校の見守り、町内会、老人クラブ、警察等により日常的に交通安全パトロールをする活動等をおこない、安全安心ネットワークを造り進めるべきではないでしょうか、また高齢者等の交通事故をテレビニュース等で見ていると道路を逆走して交差点内で事故を起こしているこのようなニュースをみていると高齢者の運転免許証の返納等をもっとすすめていき考える時なのでしょうが町としてどのように考えているのかお聞きします。

答弁要旨

園児・児童の安全対策について

過去にも平成13年6月の大阪教育大学付属池田小学校事件や、平成23年4月の鹿沼市クレーン車暴走事故により何の落ち度がない多くの子供たちが犠牲となる事案が発生し、その都度、全国の学校等において安全対策の検討や措置が行われてきておりました。しかしながら議員がおっしゃるとおり、本年5月大津市や川崎市において、幼い園児や小学生が巻き込まれる悲惨な事故事件が発生してしまいました。犠牲になられた方々に対しまして、謹んでお悔やみ申し上げるところでございます。

さて、当町における子供たちの安全対策でありますが、認定こども園ふたばにおいては、厚生労働省が策定する「保育所保育指針」と当町で策定した「上砂川町認定こども園ふたば安全管理マニュアル」に基づき、保育教諭園内研修等で散歩コースの安全確認について情報共有を行い、散歩の際には園児たちの列の先頭と最後尾に必ず保育教諭を配置し、事故に遭わないよう安全対策に

努めているところでございます。
また、小学校においては、かなりの児童が保護者の自家用車にて登下校する実態はございますが、学校で策定する学校経営計画に基づき、通学路の指定、登下校時の安全指導、校内外での不審者に対する対応を実施することとしており、日頃より児童・教員ともに安全対策に努めているところでございます。
教育委員会も事件の翌日、町内通学路の巡回を行い、警察においては春の交通安全週間に引き続き、小学校の登下校の時間帯にパトロール等を実施するなど、各々対策を講じているところでございます。
いずれにいたしましても各学校・認定こども園をはじめ、婦人交通指導員や防犯協会、子ども１１０番の家などと連携しながら子供たちの交通安全のみならず、子どもたちが被害に遭わないよう、取り組みを強化していきます。

高齢者の運転免許証の返納等について

高齢者による重大な交通事故が全国で相次ぎ、事故を起こした高齢者の中には、他の方が起こした事故のニュースを見て、運転免許証の自主返納を検討していた方もいたとの報道があり、もう少し早く返納していれば事故を起こさずに済んだ可能性もあるなど深刻な状況にあります。
本町においては、幸いにして高齢者に起因する重大な交通事故は発生しておりませんが、高齢化が進む本町にあっては高齢による認知機能の低下を感じつつも通院等のため運転を続ける方はいらっしゃると思われます。そうしたご本人やご家族が運転免許証の自主返納を検討し返納しやすいようにと、昨年７月から高齢者運転免許証自主返納支援事業を開始いたしました。
支援内容はタクシー利用助成券５万円分とし、他市町より充実した内容としたことから町の想定以上に多くの方が本事業を利用し、本年５月末までの返納者数は44名となっております。これは事業開始前の運転免許証返納者が10名ほどでしたので、大幅に増加しており高齢者の交通安全対策に一定の成果があると考えております。
運転免許証の返納は、個人の身体能力の差や生活状況の違いもあり、年齢で一律に規定することはできないものではございますが、本事業を実施することで高齢者が運転を卒業することを検討し、ひいては交通事故を回避できるよう今後も周知に努めてまいります。

提案された意見書

意見書の議員提案が第２回定例会で１件あり原案のとおり可決され、関係機関に提出されました。

意見書案第１号
新たな過疎対策法の制定に関する意見書

提出議員　髙橋　成和
賛成議員　数馬　尚
　　吉川　洋

各種研修会・交流会

北海道町村議会議長会議員研修会

本年６月25日、札幌市コンベンションセンターにて行われました、北海道町村議会議員研修会に参加して参りました。
この研修は毎年行われており、私自身は今回で７回目の参加です。
またこの研修は全道の町村議会議員が一同に会する大規模な研修であり、講師の先生はテレビ・雑誌や新聞でお見掛けする高名な先生です。
今年は「どうなる？今後の日本政治」と題しまして、政治評論家であられる有馬晴海氏と、「地方は変われるか」と題しまして、中央大学名誉教授であられる佐々木信夫氏のお二方の御講演でした。
有馬先生のお話はジョークを交えながら参議院選挙を目前に控えて、所謂アベノミクス、報道された年金問題、10月に予定されている消費税増税についての各政党、政府、総理や国務大臣の動きや考え方、今後の展望や問題点、そして働き方改革、人口減少による人手不足問題、空き家・空き店舗問題等を分かり易く解説して下さいました。
佐々木先生のお話は主に都道府県単位での地方議会の選挙や議会改革、首長選挙や自治体の変革、改

革を題材に、国政の動きと絡めて地方としての人口減少問題の取り組み方、国債・地方債残高、経済成長、労働力減少等の問題について、戦後一度も地方交付税を受け取っていない、経済や人口が一極に集中している東京都と国、東京都とその他46道府県を対比させながら解説し、今後あるべき日本のあり方、地方のあり方を講演して下さいました。

参加した私たち上砂川町議会議員の一人一人、感じた事、思った事はそれぞれなのですが、帰りのバスの中でそれぞれの意見を出し合い、議論しながら帰途につきました。

講演いただいた内容を今後の議会活動に生かして行きたいと思う次第です。

（記　伊藤　充章）

出席者（７名）
大内兆春・髙橋成和・数馬　尚・吉川　洋
伊藤充章・越前　等・小澤一文

中空知ふるさと市町村圏議員研修会

７月８日に滝川市で開催された、第29回中空知ふるさと市町村圏議員交流会に参加してきました。

中空知、５市５町の議員１００名と各市町の三役並びに事務局、担当者等合わせて総勢１６２名の参加が有りました。

今年の記念講演は『地域と共に歩むセコマの経営』と言うタイトルで『㈱　セコマ　代表取締役社長丸谷智保　氏』の講演を聞いてきました。セイコーマートの経営理念、北海道の地域とのかかわり方等、コンビニの出店に当たり地域との関係、社会貢献等についての考え方について細やかな配慮のもとに出店をしているとの説明が在りました。

私も小売業に身を置く者の一人として大変興味深く話を聞かせて頂きました。

只、社会貢献と言うのはその地域の中で地域の仲間としてどの様な活動を出来るのかと言う所も大変重要な部分と感じています。

いま全国のまち作り、まちおこし等で一番貢献しているのが、その地域に昔から存在している、事業所や地域の小さな商店等が一番協力をしているのが全国の地域での実態です。

その部分では、大手のスーパー、コンビニ等が一番そういう所には目を向けていない実態も真実の一つです。

これからは是非、遠慮せずまちおこし等にも積極的に参加をして頂ければ本当の意味で「地域と共に歩む経営になる物と」感じた次第です。とは言えセコマにおいてはその企業力を駆使して、北海道の生産物を活用して商品化して、地域の生産性向上に貢献している所はやはり北海道のコンビニの役割を大いに発揮しているものと敬意を表する所です。

今回の講演は議員と言うよりは私は、小売業に係る者として大変勉強に成り又考えさせられる１日でした。

（記　吉川　洋）

出席者（７名）
大内兆春・髙橋成和・数馬　尚・
吉川　洋・伊藤充章・越前　等・
小澤一文

空知町村議会議長会議員研修会

開催場所
奈井江町文化ホール
講演内容
「地方自治体の防災・減災対策」
北海道大学　公共政策大学院
特任教授　高松　泰　氏

７月12日（金曜日）奈井江町にて空知町村議会議員研修会が開催されました。内容は空知の地域構造、被害の全容、災害対応の検証、避難行動／被災者支援、防災・減災政策など大変興味深く拝聴させていただきました。

２０１６年８月の北海道豪雨、台風により水害、土砂災害、避難勧告などの経験から、災害の際の要配慮者、高齢者等の迅速な避難が望まれます。当町でも約36年前に豪雨災害にあい、水害孤立地域などを経験していますし、昨年は「胆振東部地震」で２日間にわたる大規模停電を経験しました。

研修会において各議員がスキルアップとなる有意義な機会となりましたし更に各議員が成長できるよう勤めてまいります。

（記　越前　等）

出席者（７名）
大内兆春・髙橋成和・数馬　尚・
吉川　洋・伊藤充章・越前　等・
小澤一文

町内事業への参加報告

令和元年上砂川消防演習

6月16日（日曜日）午後2時より上砂川消防演習が開催されました。当日は分列式・機械器具点検・小隊訓練・ポンプ車操法等がおこなわれ日頃の訓練の成果を発揮されていました。団員の人数も近年引退された方も増え40名と減少傾向にありますが、現在は団員募集に力をいれることで町内企業に勤めている方に限らず役場職員、社会福祉協議会、地域おこし協力隊の方々にも入団していただいているそうです。新人の団員さんの活躍されていている姿を拝見するとたいへん頼もしく感じましたし、災害はいつ発生するか全く予測がつきませんので、これからも有事の際に備え私たち町民のために日々の自己研鑽に努めていただきたいと思います。

（記　髙橋　成和）

出席者（6名）
大内兆春・髙橋成和・数馬　尚・伊藤充章・越前　等・小澤一文

鶉神社祭典

6月16日（日曜日）に鶉神社祭が開催されました。

今年で118年目を迎える鶉神社、明治36年建立され、当時入植開拓していた山内甚之助氏をはじめ開拓者の方々が家族の健康と安寧、地域の安全を祈り建立されたものと思います。

町内で一番長い歴史を誇る行事と思いますが、今年も鶉本町地域だけではなく町内各地域から子供たちが集まり楽しくお祭りを楽しんでいました。

これからも永く続く地域の行事として残ってほしいと願い参加をして来ました。

（記　吉川　洋）

参加者（2名）
髙橋成和・吉川　洋

編集後記

今年の夏は正に盛夏そのもの、連日30度を超え暑くて寝苦しい夜を過ごしている方が多い事と思います。

ここ数年、毎年暑い夏が多く成ってきている気がします、地球全体が急激な温暖化により狂ってきているのかもしれません。

これから毎年夏には、熱中症に成らないように、水分をしっかり取り、エアコンや扇風機をしっかり利用して気を付けて下さい。

そんな中、新時代「令和」が本格的にはじまり、秋には消費税が10％になる予定で、流通業に大きな影響が有る物と思います。

細かい話に成りますが、納品書、請求書の書式も変わり、更に令和5年10月よりインボイスと言う制度が導入され大きな変化があります。どちらにしましても緩やかな経済の成長に繋がればと祈らずにいられません。

さて、役場庁舎の建設工事も動き始めました。役場西館の各部署も東館へ移動しました。町民の皆様にはなれずに少しばかりご不便をお掛けしているかと思いますが、職員一丸となり、皆さんにご不便を掛けないように努力をしております。

令和3年の春には新しい利便性の高い新庁舎が出来上がります。もうしばらく、皆で期待をして待ちたいものです。

お盆も過ぎる頃より朝晩は涼しくなると思います。台風等の被害の少ない実り多い秋に成ります事を願い、過ごしやすい日々を期待している今日この頃です。

（記　吉川　洋）

令和元年第3回上砂川町議会定例会を傍聴しませんか？

本会議は、簡単な手続きで自由に傍聴することができます。町議会の活動などを知るよい機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

○議会日程：9月17日（火）～20（金）
○傍聴可能日：9月17日（火）
　　9月20日（金）

議会広報誌の編集委員

・髙橋　成和
・数馬　尚
・吉川　洋
・伊藤　充章
・越前　等
・小澤　一文